

国際識字年

すべての人々に文字を

写真は、九月一日開催の「国際識字年
県民の集い」で上演された一人芝居「火
の玉のはなし」のシーンです。
演じているのは中西和久さん。
福岡県筑後地方に伝わる明治中頃の物
語を題材に、偏見と差別が生んだ悲劇を
中西さんは哀しく、ときにはユーモラス
に演じ、見る人の心に感動を与えました。
今年、国連総会において採択された「国
際識字年」です。
二〜三ページで識字問題の特集しまし
た。



県民の集い

パネルディスカッション 国際識字年と識字問題の課題

識字問題の 心臓部はアジア



バンングラデシュでの 識字活動



学校は 恋人のようなもの



まず、本日のパネルディスカッションを進めるうえで、現在の世界の非識字の実態を紹介いたします。ユネスコ(国連教育科学文化機関)の推計によると、十五歳以上の人口のうち約三〇割にあたる約九億六千万人の人々が文字の読み書きができません。また、小学校段階の児童のうち約一億人が現在小学校に行っていないといわれています。十億人以上の文字に飢えた人々です。

皆さんはバンングラデシュという国にどんなイメージを持っていますか。自然の緑と水に恵れた大変美しい国で、そこに住む人々は貧しいながらも実にエネルギーリッチな国です。しかし、一億二千万人の人口が日本の四〇割の土地に住み、人口の八割の人々は農業に従事してはいますが、土地不足のためほとんどが小作、日雇いで生活を送っています。貧困のため、子供の二人に一人は小学校を五年で卒業の仕事を手伝います。

現在、日本には約六十八万人の在日韓国・朝鮮人が住んでいます。私はこの在日韓国・朝鮮人一世の方々とはほぼ同年代です。私たちが顔はそっくりなのに、言葉や生活習慣は全然違っていますね。

「私も自分の住所や名前を読めるけど、栗の箱になんて書いてあるかわからへん。何の栗かいくつ飲むのかわからへん。先生、字教えて」

ほとんどの方は小、中学校に行ってません。教育施策によって夜間中学に行く機会が与えられましたが、三年間だけでは済まなかった。

今年(1990年)は国際識字年です。識字とは、日常生活における簡単な文章を理解して読み書きができることで、単に読み・書き・計算の技能修得にとどまらず、人間らしく生きていくためのすべての能力です。現在、世界では約9億6000万人もの人々が文字の読み書きに不自由しています。1987年の第42回国連総会において「西暦2000年までにすべての人々に文字を」と、今年1990年を国際識字年と定め、全世界が協力しあって識字問題を解決しようと採択されました。

9月1日土曜日午後1時、和歌山県民文化会館大ホールで「国際識字年 県民の集い」が開かれました。海外で、全国各地で、識字問題に取り組んでいる方々を招いてのパネルディスカッション、続いて中西和久さんの一人芸居「火の玉のはなし」が上演され、当日集まった約2200人の参加者は、世界や日本、そして県内の非識字の現状とそれに関わる人権問題について深く考えさせられました。ここでは当日のパネルディスカッションの様相を紹介します。

なお本文中、敬称は省略させていただきます。

さて、このバンングラデシュでの私の活動を簡単に話します。まず、十五年ほど前、こういつた貧しい農村地域の人々に相互扶助組合を作ろうと提案し協力しました。子供の栄養失調や病気の対処、生活の向上策など農民が互いに協力しあって生きていくための体制づくりでした。最終的には二十人で構成する一組合が千三百もの組合数になったのですが、一つ大きな問題にぶつかりました。文字です。七〇割という高い非識字率のため、組合活動の中でたとえば、規則が読めない、会計簿が書けないなど。

そこで私たちは「生活改善成人識字学級」を開設し、組合員を対象にした識字教育の手伝いを始めたのです。ここでは単に字の読み書きを教えるだけでなく、

家畜の病気対策など生活に密着したプログラムを用意しましたが、最もみんな喜んでくれたのは識字でした。今までに一万人以上の修了者が出ましたが、以前とくらへ信じられない成長がうかがえ、みんな自信を持って社会に参加していったのです。

現在、横浜の寿町には九十三軒の簡易宿泊所があり、日雇いの労働者が約六千人住んでいます。ほとんどが独り身であり、日雇いのきつい肉体労働に従事しています。

十一年前、ある労働者に「わしは学校に二日しか行ってない。文字を覚えてくれ」と訴えられたのをきっかけに、この寿町で識字学校を始めました。四十、五十歳になつて字を覚える。そして学校で作文を書く。彼らの作文を読むたびに私は、日頃、単に記号としてしか文字を使っていない自分を発見し、恥じるのです。これからひとつの作文を紹介いたします。この方は小学校入学当時、足にけがをし、一年

も無理なのです。彼らは、夜間中学が大好き、もつと行きたくった、恋人みたいなもんや、と言います。皆さんの中に、学校が恋人と同じくらい好きだと言える人がいますか?

そして私たちは環状線のガード下で識字学級「麦豆教室」を始めました。

今、私たちの学級では、識字だけでなく、彼らのふるさとの歴史、地理、文化をみんなで学んでいます。

字は 記号じゃない



母の心は子どもを想う心だと思ふ。母は子どもを生み、名前をつけ、おんぶして、寝かせ、大きく育て、一人前に育て、会社に出す。でもその子は今何をしてくれるかなと母の心は心配してる。だるうね。母に便りを出す。母の便りは体に気をつけてと母のこもった心が僕に通じるようだ。母の心は青空のように、子どもをしつけ、言葉を教え、大きな人間にして、母も努力、また子どもも努力して、一本のレールの心だと思ふ。

私に、こんな文章が書けるでしょうか。おそろしく、どうでもいいことを、すらすらと文字を並べるだけのものになるだろうと思ふ。

識字は、人間が生きるための一番の根本のところを、暖かく大切にしてくれるものなのです。

パネリスト(順不同)

- コーディネーター 元木 健 (もときけん) (大阪大学人間科学部教授) 昭和5年、東京都生まれ。大学卒業後、社会教育、生涯教育の領域に活躍。識字教育に造詣が深い。
- 中田 豊 (なかたとよかず) (東京・シャプラニール 市民による海外協力の会代表) 昭和31年、愛媛県生まれ。昭和61年から民間の海外協力団体のバンングラデシュ駐在員として識字教育に取り組んでいる。
- 大沢 敏郎 (おおさわとしろう) (横浜・寿識字学校代表) 昭和20年、岐阜県生まれ。昭和54年から横浜の寿町で日雇いの労働者や外国人労働者を対象にした私設識字学校を開設し指導している。
- 岩井 好子 (いわいよしこ) (大阪・麦豆教室主宰) 大正14年、大阪府生まれ。小、中学校の教員を退職後、大阪市で在日韓国・朝鮮人を対象にした私設識字教室「麦豆教室」を指導している。
- 我 和男 (えびすかずお) (和歌山県内識字学級指導者) 昭和12年、和歌山県生まれ。小学校教諭として尚和地区児童の指導に力を注ぎ、昭和48年から識字学級の指導者として活躍する。現在、湯浅町立山田小学校校長。
- 藤本 操 (ふじもとみさお) (和歌山県内識字学級参加者) 昭和10年、和歌山県生まれ。読み書きが不自由なため、昭和47年から識字学級に参加する。今年2月、全国入権協会にて体験発表。現在、保育所調理員として活躍している。

国際識字年

こく さい しき じ ねん



私の「字」がひとり歩きを始めた

藤本 操



私は昭和十年、七人兄弟の次女として和歌山市に生まれました。北海道の親類に小学校四年生まで預けられていたが、和歌山に帰郷終戦を迎えます。当時は簡字にパンを売ったりして親の手助けをしていました。で学校には行けませんでした。結婚して子供が二人できました。子供が小学校に通うようになると、連絡帳をつけたり、参観日には学校で名前を書かなければなりません。字が書けないからといって参観日を欠席する

と、自分以上に子供がかわいそうです。自分に腹が立つて仕方ありませんでした。やがて、私と同じような人が四十人ほど集まり、学校の先生に指導を頼み、識字学校が始まりました。先生たちは手づくりのテキストを作ってくれました。しかし、字を学ぶということはそんなに簡単なことではありません。生徒もだんだんと少なくなりました。せつかついた識字の灯を消したのだと、みんな一生懸命頑張ったのです。先生の指導のもと、私は「字」という作文を書きました。その作文は本として出版され、全国の学校や学級で使われることになりました。私の書いた「字」がひとり歩きを始めたのです。

同和問題と識字問題

戒 和男



県内では七つの市町村において十六学級、約五百人の方が識字学校に通っております。年配の方ならご存知かと思いますが、昭和二十年代後半から、不就学児の問題が大きくなってまいりました。昨日まで机を並べていた子が、今日から来なくなるという。どうしたんだろう。差別による貧困のため子供は働かざるを得なくなり、差別が子供の教育を受ける権利を奪ったのです。湯浅町の識字学校は当初、過

一回二十数人の生徒が参加し、学校の教師が指導するという形で始めました。生徒は、小学校だけしか行けなかった人、一年行っただけでやめた人、そして全く学校に行けなかった人たちがいます。こんな状況で果たして字が覚えらるのか、と不安がる人も多かったのです。やがて字が自由に書けるようになった頃、自分の今までの人生、悩み、苦しみを作文にしてもらいました。単に字を覚えるのではなく、差別の正



体、人権の大切さについて生徒と教師が一緒に考えていこうとしたのです。現在、これらの作文は県内の同和教育の教材として大切に使用されています。

国際識字年と今後

パネルディスカッションの前半は、パネリストそれぞれの体験から非識字の実態が語られました。

21世紀への突入を10年後に控えての国際識字年。非識字の根源は、本人ではなく差別と貧困という社会環境にあるということとをみんなが理解し、残る10年のうちにこの社会問題を解決しなければならないのです。

以下、各パネリストに国際識字年にあたって、その意義、今後の問題などを語っていただきました。

大沢

国際識字年中央推進実行委員会の調べでは、現在、日本での非識字者の数は推定二百万人です。皆さんが一生のうち、非識字者の方とこれから出会うことがあるでしょうが、そのとき、その方の背後には三百万人の字に飢えた人々がいることを認識してほしいのです。

岩井

今日、私は大阪から電車を使ってこの会場にやってきました。誰かが時刻表、案内板を見て、和歌山駅から正しいバスに乗り、正しい停留所へ降り、ここ県民文化会館に来ることができ、そんな世界が来るまで頑張り続けたいと思います。

中田

国民の半数以上は字の読み書きができず、国家予算のほとんどが軍事費に充てがわれ、政府は国民が利口になつては困ると考えている。世界には、そういう国が現実存在します。そういう政府も悪いが、そういった政府をコントロールできない民衆の教育、文化の貧困もまた問題なのです。

戒

国際識字年にあたり、将来予想される問題について考えたいと思います。現在、長期欠席、登校拒否や家庭の事情により学校に行っていない子供の相談件数は県内で二百あるということです。識字を含めた基礎的な学力を身につけられない子供が現実にいるということを認識したうえで、教師と親が協力し、これに対処せねばなりません。

藤本

もし、かつての私のように字の読み書きに不自由な人があなたの回りにはいるなら、識字学校などあらゆる方法を使って学び機会を与えてほしいと思います。

元木

今回のこの集いの目的のひとつは世界で、日本で、和歌山県で、こういった現実があるということを知ってもらうことでした。そして何故、字を知らない人がいるのかを知ってほしかったのです。それは、差別と貧困でした。間違つてはならないのは、決して本人の能力や怠慢によるものではないということです。国際識字年は、この一年間にこのようなイベントをいくつ開催してそれで終わりというものではありません。残る十年、二十一世紀に識字問題を持ち越さない。今年はそのスタートの年なのです。そしてこの運動を支えるのは皆さん一人ひとりの力なのです。

紙面の都合上、パネリストの皆さんの発言は要約して登載させていただきます。

119歳のふるさと誕生日

今年は田辺でバースディパーティー



あっぱれ君

紀州ふるさと運動マスコットキャラクター

日時 11月25日(日) 午前10時▶午後4時

場所 紀南文化会館(田辺市)を中心とした地域

私たち一人ひとりに誕生日があるように和歌山県にも誕生日があるのをご存知ですか？

明治4年11月22日。和歌山県が産声をあげた日です。

和歌山県、田辺県、新宮県などが合併して

現在の和歌山県が誕生したのがこの日なんです。

そこで、昨年、県民の皆さんが郷土について理解を深め、ふるさとを愛する心を育み、

そしてより豊かな和歌山をめざしていく、

そんな出発の日として「11月22日」が「ふるさと誕生日」に制定されました。

昨年は和歌山市で開催しましたが、今年は田辺でできるだけ多くの人に参加してもらおうと

11月25日の日曜日、3日おくれの誕生パーティーを行います。

名づけて「MUR Oおもしろランド IN 田辺」。

ふるさとへの自信と誇りがわいてくる楽しさ一杯の催しです。

「ふるさと誕生日」の記念イベントについて、くわしくは県庁文化振興課へ

あっぱれ未来館

(商工会議所)

紀州ふるさと運動のマスコットキャラクター「あっぱれ君」出演のアニメ「わかやま誕生物語」で和歌山県の歴史、人物、モノなど全国に誇れるものを再発見してください。

同時に「となりのトトロ」、「はれときどきぶた」の人気アニメも上演します。

その他、これは見事！バスケットボールをするロボットにも出会えます。



メイン会場

(紀南文化会館)

「誕生日」は午前10時からの記念式典でスタート。ふるさと運動に功績のあった方々へのふるさと大賞の表彰や、和歌山県のイメージソングの発表の後、テレビ番組「おかあさんといっしょ」でおなじみの人形劇「にこにこぶん」の上演です。また、ものまねの清水ミチコさんが誕生日を祝ってパフォーマンスを演じてくれます。

館内展示ホールでは、西牟婁地方の歴史をパネルや展示品で紹介。熊野古道、備長炭、南方熊楠、リゾート構想などふるさとの過去と未来がわかります。

清水ミチコ



ふるさと広場

(市役所前広場)

ここには黒潮が結ぶ環太平洋の国々のめずらしい食べ物がいっぱい。インドネシアの焼鳥、フィリピンの味噌汁、有名なメキシコ料理・タコス等々。地元も負けじと伝統の味で対抗します。みんな連れもて「おいしんぼ村」へいらっしやい。

また特設舞台では、鬼若太鼓など郷土芸能の披露や、宮川大助・花子、非常階段、チャンバラトリオのゆかいなお笑いショーも。



宮川大助・花子



歩行者天国

(市役所前道路)



午前11時からオープニングセレモニー開幕。

花火や色とりどりの風船が舞う秋空のもと、県警音楽隊、カラーガード隊の若さあふれるドリル演奏やメキシコ・シナロア州の民族舞踊団が登場、情熱的な踊りが披露されます。

また路上にずらりと並んだテントの列。ここ「ふるさとワイワイ市」では、県内各市町村自慢の産品がどっさり並び、ふるさとを競いあいます。

シーサイド・バンド天国

(扇ヶ浜公園)

若者たちの熱気あふれるバンド演奏のコンテスト。ゲストとして中村泰士さん(作曲家)と佐川満男さん(歌手)を迎え、コンサートを盛りあげます。

なお、コンテストに参加するバンドを募集しています。デモテープを11月5日までに県庁文化振興課またはテレビ和歌山企画販促課シーサイドフェスティバル係 ☎(0734) 55-5741へ送付してください。

セイフティスクエア

(消防署)

子供たちにとって、日頃、あまりそばで見ることの少ない消防車やパトカー、最新の白バイなどが勢ぞろい。これらを身近に体験してもらうことによって、子供たちに安全意識を養ってもらおうというコーナーです。

にこにこぶん・清水ミチコライブは整理券(無料)が必要です。

- ①にこにこぶん 11:40~
- ② // 13:30~
- ③清水ミチコライブ 18:30~

往復ハガキに希望の催し番号と住所、氏名、電話番号を記入のうえ11月5日までに(先着順)〒646 田辺市新屋敷町1 田辺市役所公聴広報課 ☎(0739)22-5300へ申し込んでください。(ハガキ1枚で1名のみ)

正しく服用してこそ「薬」です!

10月17日～23日は
「薬と健康の週間」

「なぜか頭痛がするなあ」「ちょっと、かぜ気味かしら...」「最近、どうも胃の調子が悪くて...」よくある経験です。
そして、また、こんな時に、わずか一錠の薬のおかげで気分もすっきりといったこともしばしばですね。
私たちの生活とすきりともきれいな「薬」ですが、案外、無頓着に接してしまいがちです。
また、薬の副作用などによる事故もあとをたちませ

ん。
今月十七日から「薬と健康の週間」が始まります。そこで薬務課を訪ねて、「薬とのつきあい方」についてきいてみました。



ふるさと誕生日 会場マップ

正しい用法、用量で

私たちは何かにつけて、よく薬のお世話になりますが、その際最も心がけたいことは? 基本的なことですが、薬の説明書をよく読んで使うということです。そして、用法や用量、使う時間などを守ることが大切です。本当に薬は用いる量などによって、まさに薬になったり、逆に毒にもなったりします。

最低コップ一杯の水で

私自身のことですが、よくお茶で飲んだり水なしで飲んだりすることがあるんですが...。一感心しませんね。錠剤等を水なしで飲むと、食道にはりつき粘膜に炎症をおこしたり、なかには、抗生物質を水なしで飲んで、食道にたまりやすくなる恐れがあるという報告もあります。最低コップ一杯の水は必要ですね。

それから、お茶や牛乳で飲むのもお勧めできません。というのは、例えば貧血の薬には鉄分を含んだものがありますが、お茶やコーヒーで飲むと、これらに含まれているタンニン酸という成分と鉄分が反応して、薬が

医師・薬剤師にご相談を

薬の飲みあわせということもよく聴きますが...。自分だけの判断で、何種類もの薬を使うのは絶対さけてほしいですね。高血圧や糖尿病の治療薬は心臓の薬とかアスピリンなどの鎮痛剤と一緒に用いると、思わぬ副作用がでたりします。ですから、病気で薬を使用しているうえに、ほかの病気など

漢方薬・生薬にも注目

ところで、そうした副作用といたった点からも、最近、漢方薬や生薬が大変なブームですね。一そうですね。私たちのまわり



薬草の実験栽培 (植物公園緑化センター)

薬草がたくさんあります。

一般に、薬草を利用するのは慢性とかアレルギー性の病気を治すのに適しているといわれています。その場合も大事な点は病気の症状をよく見きわめ、正しい知識をもって用いることです。最近、人の弱味につけこんだ漢方薬と称するあやしげなもの

くすりと健康フェアを開催

最後になりましたが、今、言われた薬全般に関する相談や、薬用植物の展示などを行う「くすりと健康フェア」を今年初めて開催するということが、十一月の三日、四日と和歌山市の県立体育館で行います。内容はその他にも、薬の歴史や県内の温泉の効果や利用法、麻薬、覚せい剤に関するもの、さらに、医療機器による健康測定や、薬用酒の試飲コーナーなど「見て」、「聞いて」、「試す」ことのできる総合的なフェアです。



ゲストに女優の斎藤慶子さんも来てくれますので、お気軽におこしください。



薬の歴史がわかります



も出回りますから、服用するときは専門家によく相談してほしいですね。
漢方薬などの原料として需要が急増している薬用植物ですが、県でも、栽培の普及、促進にとり組んでいるとのことですが、漢方薬は、生産額で、ここ十年間に約十倍も伸びている成長産業です。反面、原料になる薬草の八割を中国からの輸入に頼っている状態で、国内での生産が強く求められています。
オランダの輸入自由化によるミカンや稲作からの転作対象としては、非常におもしろいんじゃないかと考えています。
それで、昨年から植物公園緑化センターでの実験栽培や品質評価を重ねて、栽培者のためのマニュアル(手引書)づくりや栽培希望者のグループづくりに取り組んでいるところなんです。

募集

県政バス教室参加者

Aコース 11月20日 100人
県民文化会館から南部川村うめ21研究センターなど 一人1、300円 申込先 県庁広報公聴課へ

Bコース 11月19日 50人
伊都・那賀総合庁舎から榑山ダム(美山村)など 一人950円 申込先〒649-62那賀郡岩出町高塚29那賀県事務所 ☎(0736)63-0100から〒648橋本市市脇4-5-8伊都県事務所 ☎(0736)34-1700へ

Cコース 11月19日 50人
日高総合庁舎・広川町新広橋南詰・安詰橋北詰から関西国際空港加太土取り場など 一人300円 申込先〒643有田郡湯浅町湯浅1-1有田県事務所 ☎(0737)63-4111から〒644御坊市湯川町財部6日高県事務所 ☎(0738)22-3111へ

Dコース 11月20日 45人
東牟婁総合庁舎から南紀白浜空港など 一人100円 申込先〒647新宮市緑ヶ丘2丁目4の8東牟婁県事務所 ☎(0735)22-8551へ

おしらせ

〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32-4111

新設養護学校の校名

来年4月、有田郡広川町和田に新しく養護学校を開校します。精神薄弱児、肢体不自由児が対象で、小・中・高等部を設置し、すべての子供が明るく笑顔あふれるような学校をめざしていきます。

この養護学校にふさわしい校名を募集しています。

対象 県内にお住まいかお勤めの方
締切 10月20日(必着)
申込 ハガキに①学校名、②名付けた理由、③住所、氏名、年齢(児童生徒の場合は学校名、学年も)④電話番号を記入のうえ、県教育庁学校教育課内新設養護学校開校準備室へ
なお、入選者には記念品を呈します。

50%、土地所有者40%、林業公社10%
申込 申込書に必要事項を記入し11月30日までに〒640和歌山市湊通り丁北1丁目1の8(和歌山県林業公社 ☎(0734)2610505)へ
申込書などくわしくは申込先へ

10月は「労働保険適用促進月間」です
労働者を一人でも雇用する事業主は、法律に基づき、必ず労働保険(雇用保険・労災保険)に加入しなければなりません。
加入の手続き等くわしくは最寄りの公共職業安定所「労働基準監督署」へ

近年、女性の社会意識の変化や、サービス産業を中心とした女性の働き手の不足から、パートタイマーの需要が伸びつつあります。
そのため和歌山パートバンクと今年オープンする田辺パートサテライトは、公共職業安定所の出先としてパートタイマーの求人・求職の情報を皆さんに提供し、紹介しています。



和歌山ステーションビル四階 ☎(0734)22-8010
平日 午前九時～午後五時
土曜日 午前九時～十二時三十分(日、祝日、第二・四土曜日は休み)

田辺パートサテライト
10月18日オープン
和歌山パートバンクのミニ版「田辺パートサテライト」が十月十八日、田辺市で業務を開始します。

この田辺パートサテライトは規模こそミニですが、その機能はパートバンクに負けないものを備えています。常駐の相談員がコンピューターを活用し職業紹介を行い、相談に応じます。提供される求人情報は、田辺市を中心に御坊市、日高郡、西牟婁郡、そして東牟婁郡の一部の事業所のもので、皆さんご利用をお待ちしています。

田辺市湊塔ノ内九三六-六 明光田辺ビル五階(JR紀伊田辺駅前) ☎(0739)26-3810
受付時間は和歌山パートバンクと同じです。

青年海外協力隊員
発展途上国の人々のために、自分の持っている技術や経験を生かしてみたい、そんな強い意欲を持った方を募集します。
期間 10月15日～11月30日
対象 20歳～39歳の方
説明会
10月25日 県民文化会館
11月16日 紀南文化会館
11月15日 紀南文化会館
両会場とも午後6時30分～
くわしくは県庁青少年婦人課へ

「くらしの中の土木を探る」参加者
土木事業の現地を体験していただくためのバス見学です。
日時 11月18日午前9時45分県庁前集合
対象 小学4年生以上(小学生は保護者同伴、土木技術者の方はご遠慮ください)
定員 50人
場所 加太土砂採取現場、和歌山マリーナシティ、和歌公園など
参加費 1人1,000円
申込 往復ハガキに住所、氏名、年齢、職業、性別、電話番号を記入し10月25日までに〒640和歌山市小松原通1-1県庁港灣課内土木学会関西支部事務局「土木学会市民行事」係 ☎(0734)41-3156へ

「原展」応募作品
部門 生花、日本画、洋画、写真、書、彫塑、工芸
資格 県内に在住か通勤通学をしている方(中学生以下を除く)
出品料 一点につき1,540円
受付(11月1日) 新宮地域職業訓練センター、串本町文化センター、田辺市勤労青少年ホーム(いずれも貨物輸送用に梱包したものに限り)
11月3日、4日 県立近代美術館
※送付の場合は作品、出品料、出品申込票(県立近代美術館、各地方教育事務所で配布)を一括して11月2日までに近代美術館へ必着。

和歌山パートバンク
求人情報はカード展示
和歌山ステーションビルの四階に和歌山パートバンクは開設されています。
入口を入ると、まず目につくのが掲示板に張られた数多くの求人カードです。これには、和歌山市内と那賀郡内にあるパートタイマーを求める事業所の求人情報(仕事の内容、勤務時間、時間給、休日など)が記載され、しかも地域別に展示されていますので、希望する地域での仕事をみつけやすいようになっています。

「日高路をたずねて」参加者
熊野古道・鹿ヶ瀬峠付近で中学生を対象に自然観察教室を行います。
日時 11月3日・4日1泊2日
場所 白崎少年自然の家・鹿ヶ瀬峠
対象 県内在住の中学生
定員 40人(多数の場合抽選)
参加費 1,660円

「紀州東照宮の歴史」
今年の特展は、昨年開催した「紀州東照宮の名宝」展の姉妹編として、華麗な絵巻物、工芸品、パネル展示などによって、紀州東照宮の歴史と伝統をふり返ろうとするものです。
期間 10月10日～11月25日、月曜休館(ただし10月15日は開館)
場所 県立博物館(和歌山城二の丸跡)
入場料 一般510円、高校生300円、小・中学生100円
くわしくは県立博物館 ☎(0734)23-2467へ

「道成寺の森」
緑のオーナー
林業公社が育てたヒノキ林(22年生)のオーナーを募集します。場所 日高郡川辺町山野五本松地内
募集口数 50口 1人2口まで
1口あたり30万円(消費税別)
契約期間 23年間
収益の分収割合 緑のオーナー

県営住宅入居補欠者
野団地(橋本市野) 10戸
笠田団地(かつらぎ町笠田東) 5戸
申込用紙配布 10月8日～19日
橋本土木事務所、橋本市役所、伊都郡内町役場
申込 10月22日、23日(午前10時～午後4時) 橋本土木事務所建築課 ☎(0736)34-1700
くわしくは申込先へ

物産バス教室参加者
食料品や日用品などがどのように生産され、流通しているかについて、直接、現地見学を行うことによって、物産問題への理解と認識を深めていただくものです。
Aコース(11月5日)
県庁前(午前9時50分集合) 中央卸売市場・紀州漆器伝統産業会館(昼食) 東牟婁燃料和歌山工場 県庁前(午後4時解散予定)
Bコース(11月14日)
県庁前(午前9時20分集合) 農協桃山工場 植物公園緑花センター(昼食) 花王和歌山工場 県庁前(午後4時解散予定)

「日高路をたずねて」
熊野古道・鹿ヶ瀬峠付近で中学生を対象に自然観察教室を行います。
日時 11月3日・4日1泊2日
場所 白崎少年自然の家・鹿ヶ瀬峠
対象 県内在住の中学生
定員 40人(多数の場合抽選)
参加費 1,660円

「日高路をたずねて」
熊野古道・鹿ヶ瀬峠付近で中学生を対象に自然観察教室を行います。
日時 11月3日・4日1泊2日
場所 白崎少年自然の家・鹿ヶ瀬峠
対象 県内在住の中学生
定員 40人(多数の場合抽選)
参加費 1,660円

「日高路をたずねて」
熊野古道・鹿ヶ瀬峠付近で中学生を対象に自然観察教室を行います。
日時 11月3日・4日1泊2日
場所 白崎少年自然の家・鹿ヶ瀬峠
対象 県内在住の中学生
定員 40人(多数の場合抽選)
参加費 1,660円

「日高路をたずねて」
熊野古道・鹿ヶ瀬峠付近で中学生を対象に自然観察教室を行います。
日時 11月3日・4日1泊2日
場所 白崎少年自然の家・鹿ヶ瀬峠
対象 県内在住の中学生
定員 40人(多数の場合抽選)
参加費 1,660円

「日高路をたずねて」
熊野古道・鹿ヶ瀬峠付近で中学生を対象に自然観察教室を行います。
日時 11月3日・4日1泊2日
場所 白崎少年自然の家・鹿ヶ瀬峠
対象 県内在住の中学生
定員 40人(多数の場合抽選)
参加費 1,660円

「日高路をたずねて」
熊野古道・鹿ヶ瀬峠付近で中学生を対象に自然観察教室を行います。
日時 11月3日・4日1泊2日
場所 白崎少年自然の家・鹿ヶ瀬峠
対象 県内在住の中学生
定員 40人(多数の場合抽選)
参加費 1,660円

「日高路をたずねて」
熊野古道・鹿ヶ瀬峠付近で中学生を対象に自然観察教室を行います。
日時 11月3日・4日1泊2日
場所 白崎少年自然の家・鹿ヶ瀬峠
対象 県内在住の中学生
定員 40人(多数の場合抽選)
参加費 1,660円

「日高路をたずねて」
熊野古道・鹿ヶ瀬峠付近で中学生を対象に自然観察教室を行います。
日時 11月3日・4日1泊2日
場所 白崎少年自然の家・鹿ヶ瀬峠
対象 県内在住の中学生
定員 40人(多数の場合抽選)
参加費 1,660円

おしらせ

県庁・県教育庁は

木材産業フェア

日時 10月27日～28日
場所 県植物公園緑花センター
内容 木造住宅のすべてがわかる展示コーナー、木工品などの即売コーナー、ウッドフィラワーや木工の教室など
その他、もろまき大会や丸太切り競争など楽しいイベントも用意しています。
くわしくは県庁林政課へ

宅地を分譲します

新宮蜂伏団地(新宮市蜂伏) 区画数 116区画
面積 約187.319平方メートル
価格 1,196万6千円～2,205万2千円
分譲説明会及び受付 10月19日～21日 現地会場または県土地開発公社管理用地課(〒640和歌山市西汀丁26 県経済センター内)へ 郵送受付可(10月21日の消印まで有効)
くわしくは土地開発公社へ(0734)28-11034へ

合同行政相談

行政に関する疑問や要望など広く相談に応じます。
10月18日 午前10時30分～午後4時 和歌山市産業会館1階(和歌山市西汀丁36)
10月23日 午後1時～4時 有

田市民会館3階会議室(有田市箕島45-3)
くわしくは県庁県民生活室へ

里親になつてほしい

家庭の事情で親元から離れて生活しなければならぬ子どもがいます。その子どもたちの親代わりとなる里親を求めています。
くわしくは中央児童相談所(0734)24-4366、紀南児童相談所(0739)22-1588、各福祉事務所へ

都市緑化フェア

日時 10月20日～21日
場所 紀三井寺公園陸上競技場前広場
内容 植木市、都市緑化パネル展、金魚すくい等ゲームコーナー、緑の相談所など
お気軽にお立ち寄りください。
くわしくは県庁計画課または県都市公園事務所(0734)44-7565

Uターンフェア

現在、首都圏にお住まいで、和歌山県へのUターン就職を希望される方を対象に、和歌山県職業安定機関の職員による就職相談を実施します。
日時 10月17日～18日
場所 人材Uターンセンター(東

京都文京区後楽1-9-20 飯田橋合同庁舎)
くわしくは県庁職業安定課へ

県精神薄弱児者スポーツ大会

県内の精神薄弱児者の方の体力向上のため、第1回のスポーツ大会を開催します。
日時 11月18日 午前10時
場所 紀三井寺運動公園陸上競技場
くわしくは県精神薄弱児者スポーツ協会(0738)65-1230へ

豊かな長寿社会を考える国民の集い(和歌山集会)開催

今後到来する超高齢社会をどのようにして活力ある長寿社会にするか、皆さんと一緒に考えていただくための集いです。
日時 10月18日 午前10時
場所 県民文化会館
入場は無料です。くわしくは県庁老人福祉課へ

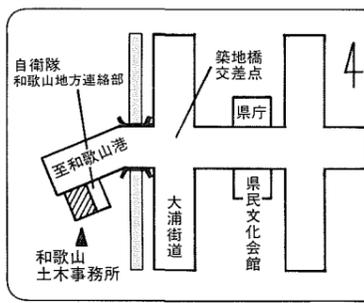
県立自然博物館秋の講演会「植物の水平分布と垂直分布」

南北に長く、また、平地や高い山など起伏に富んだ地形の日本列島。
こうした緯度によって、また高さによって植生がどのように

変化していくのかを学ぶ講演会です。
日時 11月11日 午後1時
場所 県立自然博物館
対象 中学生以上
なお、講師は県立星林高校の田岡啓里先生です。
定員 60人(先着順)
参加料 入館料のみ必要です。

和歌山土木事務所が移転しました

かねてから和歌山市築港の旧和歌山県青年館に事務所を移転するために、進めていた改修工事がこのほど完成。10月1日から新事務所業務を開始しています。
住所 〒640 和歌山市築港1丁目14の2
☎(0734)23-3281、FAX(0734)31-5564



(一般、大学生以上4100円、高校生3000円、中学生2000円)
申込 往復ハガキに住所、氏名、年齢、職業もしくは学校名と学年、電話番号を記入の上、〒642海南市船尾370-1 県立自然博物館へ
くわしくは申込先 ☎(0734)83-1777へ

試験

クリーニング師試験
日時 11月22日
場所 県民文化会館(和歌山市)
試験科目 学科試験(衛生法規、公衆衛生、洗濯物処理に関する知識) 実地試験(洗濯物処理)
手数料 7,000円
申込 10月22日～29日 居住地を所轄する保健所
くわしくは申込先、県庁生活衛生課へ

技能検定

日時 実地試験 12月10日(来年2月28日までの間の指定する日) 学科試験 来年2月3日、10日、17日の指定する日
実施職種 機械加工、和裁、建築大工など26職種
受検料 実地試験 7,500

融資

林業改善資金
資格 林業を営む個人または団体

円)12、5000円 学科試験 2、3000円
申請書提出先 〒640和歌山市砂山南3-3-38技能センター内 県職業能力開発協会
受付期間 10月1日～18日
くわしくは提出先 ☎(0734)25-4555か県庁職業訓練課へ

差別の芽

粉河町 長田小学校4年 野田 尚子

私は、年に2度心ぞうのけんさをするために、和歌山にある大きな病院へ行きます。しんさつは、特しん室といって特別の所だそうです。私は、そこで、色んな子と出会います。心ぞうの悪い子とか、しょうがいのある子とか、いっぱいいます。この間、病院に行った時、私の後ろに車いすに乗った男の子が、しんさつにきていました。私はその子の顔を見てびっくりしました。その子の顔は、自分たちの顔と少しが違ってました。きつと病気のせいだと思えます。その時、私は、その子の事をかわいそうだなと思いました。私はその子にお話をしたかったけれど、なんだか話さずじまつてました。私の心の中に、ちょっとだけその男の子を差別する気持ちがあったのかもしれない。お母さんは、いつも、だれの心にも差別の芽はあるけれど、その芽が大きく育たないうちに心から差別の芽を、つみ取ってしまわなければいけないと言います。私の心には、その時小さな差別の芽が育っていたのかも。差別の芽を、そのままに

催し

紀南文化会館 ☎(0739)25-3033

南方熊楠翁没後50周年記念事業 10月20日午後1時30分～・大ホール・無料

県立近代美術館 ☎(0734)36-1331

特別展 「現代の陶芸1980-1990関西の作家を中心として」 10月6日～28日・大人510円、高大生410円、小中生150円

植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029

緑花センター秋のまつり 10月12日～14日
園芸教室「香を楽しむ花木」 10月14日
秋の盆栽展 10月26日～28日

お気軽にどうぞ

交通事故相談

〔常設相談〕月～土曜日
場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所
〔弁護士による相談〕●県庁交通事故相談所 毎月第1、3月曜日 受付 午後1時～2時 ●東牟婁県事務所 毎月第1、3土曜日 受付 午前10時まで

〔巡回相談〕●西牟婁県事務所 10月16日 ●伊都県事務所 10月24日 ●日高県事務所 11月6日 受付 午後3時まで

県民相談

〔常設相談〕月～土曜日
場所 県庁県民総合相談室、各県事務所
〔弁護士による法律相談〕毎月第2、4金曜日 受付 午前11時まで 場所 県庁県民総合相談室
〔移動相談〕●海南保健所 10月24日 午後1時～4時

電波で結ぶあなたと県政

テレビ (テレビ和歌山)

きのくに'90 金曜日 午後7時～
(再) 日曜日 午前11時～
県政フラッシュ 金曜日 午後6時15分～
県民チャンネル 月～土 午後8時55分～
はばたく紀の国 土曜日 午後6時～

ラジオ (和歌山放送)

県民マイク 土曜日 午後2時30分～
県庁だより 月～日 午前11時40分～
(再) 月～金 午後5時40分～
(再) 土・日 午後6時～

最低賃金改正のお知らせ

県内の最低賃金が10月1日から1日4,022円、時間給1時間503円に改正されました。くわしくは和歌山労働基準局賃金課 ☎(0734)22-2171、または最寄りの労働基準監督署へ

今度、病院で車いすの男の子に会ったら、何かお話をしようと思えます。きっとそうしようと思えます。

伊都地方に文化ホールと温水プール



本格的に音楽や演劇が楽しめる大ホールと一年中泳ぐことができる温水プールが高野口町で大きな話題になっています。

このたび町では、約14億円をかけて高野口町向島に産業文化会館「アザレア」と、併設の温水プール「レインボー」をオープンしました。会館内の大ホールは680人を収容でき、電動移動式の座席の導入により多目的に使えるようになっています。

温水プールは25メートルの大プールと9.5メートルの小プールで、小さな子どもから大人まで、一年中水泳が楽しめます。近頃おなかが気になるお父さん。水泳でシェイプアップなどいかがでしょうか。

※温水プール(月曜日休み) 有料
平日=午後1時~9時
日、祝日=午前10時~午後7時
くわしくは高野口町役場公室
☎(0736) 42-3311へ (高野口町)



高原のレストハウスでひとやすみ

ハイキング、キャンプなどに最適の場所として人気が高い生石高原に待望のレストハウスが誕生しました。

地元の野上町がふるさと創生事業として整備を進めてきたもので、八角形の屋根を2つ並べたしゃれたデザインが自慢です。

ハウス内には、休憩室や動植物のパネル展示室、自動販売機なども設置されています。

また付近にはトンガリ屋根のかわいいトイレやキャンプ用の給水施設も完成しています。なんでもこのトイレ、人が入ると音楽が流れる仕掛けとか。

秋は行楽にもってこいの季節。ススキの穂が白く波打つ生石高原で、360度の遠望を楽しんでみてはいかがでしょうか。(野上町)

わかやま北南

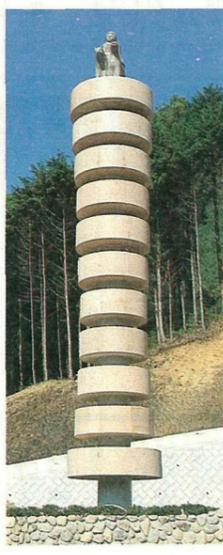


ふるさとタワーに願いを込めて

最近、車で走っていて「あれ？」と思うようなものをみかけたことはありませんか。県内では写真のような趣好をこらしたモニユメントがいくつかが登場しています。左は龍神村がその名に因んだ「龍の里づくり」を推進しようと建築したシンボルタワーです。樹齢四〇〇年、高さ十七メートルのツガの木を主柱に、杉二十四本をらせん状に配置しています。まるで昇り龍



がそびえ立っているようなこのタワーは近くの龍神温泉を訪れる観光客の間でもなかなか好評のようです。また右の方は中辺路町北郡の国道沿いに設置された「古道ピア記念モニユメント」です。モニユメントは高さ約十三メートルの柱に花崗岩の輪を十一段、その最上部に熊野ゆかりの牛馬童子像を据えています。まずまずドライブが楽しくなりそうなのこれらの塔ですが、あまり気をとられすぎて交通事故、なんてことのないようにご用心。(龍神村)(中辺路町)



「火と水と祈りのステージ」を展開

信仰の道「熊野古道」を舞台に繰り広げられている県の観光キャンペーンイベント「古道ピア」。そのメイン行事の一つ「黒潮国際フェスティバル」が8月25日夜、那智勝浦町木戸浦グラウンドで開催されました。

フェスティバルには、黒潮が結ぶ民族の祭典として、遠くタイやインドからも民族舞踏団が参加。激しい太鼓のリズムと一体となったダイナミックなインドのダンスや、しなやかな指の運びが優美なタイ王朝の宮廷舞踊などに、会場からは盛んな拍手が起っていました。

その他、地元のみならず音頭や強烈なビートの沖縄ロックなどが続々と登場。夜空を焦がす花火のエンディングまで会場を埋めた多くの観衆をすっかり魅了した様子でした。



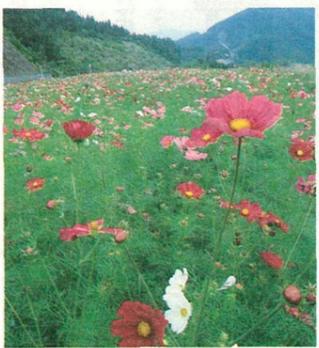
一方でこちらは本宮町山村開発センター内の熊野古道パビリオン。ここでは数多くの資料や展示品で熊野の限りない謎と魅力を紹介しています。

また平安時代の衣装を着ての撮影や古代料理の試食コーナーなども人気を呼んでいます。

いよいよ「古道ピア」も今月21日までです。(那智勝浦町)(本宮町)

満開 スカイラインのコスモス園

高野山から護摩壇山を経て龍神温泉へと続く山岳道路、高野龍神スカイライン。四季の変化に敏感な沿道の自然は、秋の紅葉に向けその姿を変えつつあります。高野料金所から約二十キロ、龍神料金所から約二十三キロのあたり、道沿いに広がるコスモス園では今、十萬本のコスモスが色鮮やかに咲き乱れ、ドライブ疲れの憩いの場としてにぎわっています。花の見ごろは十一月月上旬まで。秋の休日、高原のドライブ〇〇と満開のコスモスを楽しんでください。



源氏物語研究に生涯を

北山 谿太



シリーズ⑦

日夜、研究と原稿書きに没入し、十年もの歳月を費やした「源氏物語辞典」の編さんもいよいよ終りに近づいていた。昭和十九年五月、出版社から待望の第一回の校正刷りが届いた。しかし戦争末期の物資不足で紙はなくなり、後の校正は続かずとうとう出版は無期延期と決定する。谿太のはりつめていた心は萎え、全身の力が抜けていった。北山谿太。明治十九年、金屋町生まれ。和歌山師範学校卒業後、小学校や女学校に勤務する傍ら源氏物語に熱中する。昭和七年、退職。源氏物語研究に打ち込む決意を固めた。これより前、大正十三年の谿太の日記には「生涯の研究を源氏物語と定む」と既にあった。

退職の年、上京し、第一線で活躍する学者らの意見を聞くが、不便な田舎で難解な源氏物語に取り組み無謀を戒められたようである。この後、谿太はこの道一筋に生き、「源氏物語の新研究」、「源氏物語のことばと語法」、「源氏物語の新解釈」など数多くの研究成果を発表していった。戦争により中断された「源氏物語辞典」の出版は、戦後昭和三十三年に実現する。この間、谿太は実に六回にわたり改訂、補修を加えたという。昭和四十一年没。八十一歳。

あ と が き

今年「国際識字年」県でもその意義の理解を深め、大きな運動とするため、去る九月一日国際識字年県民の集いを開催しました。

今月号は、その内容を中心に特集を組みました。そしてできるだけ多くの方に読んでもらおうと、ふりがなをつけました。私たちの暮らしと同じ社会に、文字を奪われ、また懸命の努力を重ねる人びとがいま

少し行間がぎゅうくつになりましたが、それ以上の苦しさ、くやしさに想いを寄せ、頂ければと思います。